

第三章 文化芸術活動への支援と地域文化の継承

第一節 文化芸術の振興

主たる担当課

文化芸術活動への支援と環境整備	53101	文化・スポーツ課
新たな文化芸術活動の創出	53102	文化・スポーツ課

第二節 地域文化の保存と継承

地域文化・郷土芸能の保存と継承	53201	文化・スポーツ課
-----------------	-------	----------

第三節 歴史的・文化的遺産の保存・活用

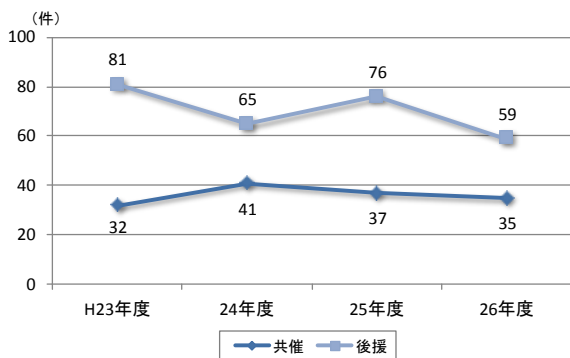
歴史的・文化的遺産の整備・活用	53301	文化・スポーツ課
埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究	53302	文化・スポーツ課
歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充	53303	文化・スポーツ課

第一節 文化芸術の振興

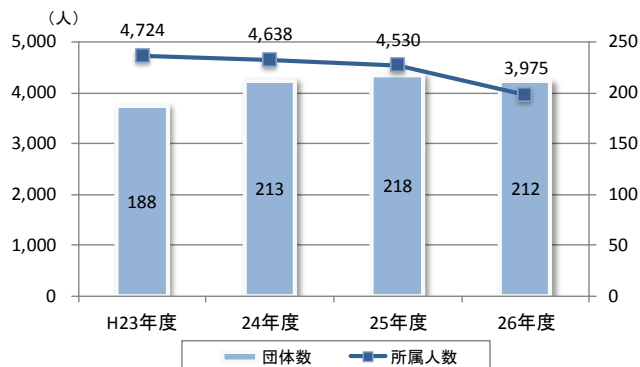
現状と課題

- 文化芸術活動は、人々の感性を磨き、創造性を高める力を持つとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会を実現するために重要な役割を果たします。市内では、市民の企画・運営による事業が行われるなど文化芸術活動が盛んで、活動団体や参加人数も増加しています。
- 市では、文化芸術の振興に関する施策を効果的に進めるため、平成21年に「我孫子市文化芸術振興条例」を制定しました。この条例に基づき、市民が文化芸術にふれ、参加できる場や機会を充実させるため、また、我孫子の自然や風土をいかした文化芸術活動が生まれ、発展していくよう、めるへん文庫や市民文化祭などの文化芸術事業を実施するとともに、共催・後援事業の拡充や活動に関する情報提供などに取り組んできました。さらに、さまざまな分野で新たな文化芸術活動が生まれるよう、イベントやコンサートなどを開催してきました。
- 市民の自主的な文化芸術活動をさらに活発にしていくためには、市民ニーズに応じた支援の強化や、活動・発表の場の確保に向けた取り組みが必要です。また、若い世代から高齢者まで、より多くの市民が文化芸術活動に親しみ、参加できるよう、鑑賞の機会の充実と情報発信の強化が求められています。さらに、我孫子の自然や風土をいかした新しい文化芸術活動の創出に向けた支援を行っていく必要があります。

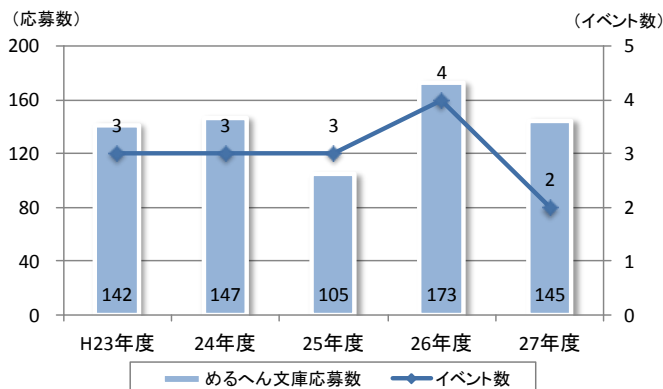
■文化芸術活動の発表機会の数



■文化芸術団体数と所属人数



■子どもや若者のためのイベント数とめるへん文庫応募数



施策の展開

○文化芸術活動への支援と環境整備

53101

市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、共催・後援事業の拡充を図ります。また、活動や発表の場を提供するため、既存施設の効率的利用を一層進めるとともに、さまざまな整備手法を検討しながら、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。

○新たな文化芸術活動の創出

53102

幅広い年代の市民が新たに文化芸術に親しめるよう、イベントや活動団体の情報を広く発信するとともに、ふれる機会や参加する機会の充実を図ります。また、さまざまな分野で我孫子の自然や風土をいかした新たな文化芸術活動が生まれるよう、個人や団体への支援に努めます。

目標・指標

目標

【53101】市民や文化団体などによる自主的な文化芸術活動が活発に行われている。

【53102】新たに文化芸術に親しむ市民が増えるとともに、新たな文化芸術活動が創出されている。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
文化芸術活動の発表機会の数 （文化・スポーツ課が共催・後援した事業数） 53101	94 件	115 件
文化芸術活動の発表機会への入場者数 53101	14,990 人	21,600 人
文化芸術団体の数 53102	212 団体	220 団体
文化芸術団体に所属する人の数 53102	3,975 人	4,600 人
子どもや若者のためのイベントへの入場者数 53102	265 人	350 人

第二節 地域文化の保存と継承

現状と課題

- 我孫子には、古くから伝わる郷土芸能や風習、祭礼があります。これらは、郷土の先人たちから受け継がれてきた貴重な財産ですが、生活様式の変化や後継者不足などの理由から、その存続が危惧されています。市内の郷土芸能団体は、地域文化の継承育成を目的として、郷土芸能クラブや講座がある市内の小中学校で活動していますが、継承者が年々高齢化しており、新たな後継者の育成が課題となっています。
- 市では、こうした生活文化を大切にし、今にいかし、次の世代に伝えるため、郷土芸能祭を開催するとともに、その模様を記録し、市民に鑑賞できる機会を提供するなどの活動支援を行っています。
- 今後も、地域の文化を保存・継承するため、聞き取りや現地踏査などの調査・研究や後継者育成のための支援や、市民が参加し、ふれる機会の充実が求められています。また、郷土芸能団体が発表する場の充実を図っていく必要があります。

■郷土芸能祭に出演している郷土芸能団体・クラブ

あびこふるさと会	古戸はやし連中
ひよっとこ睦	我孫子第四小学校伝統芸能クラブ
湖北小学校郷土芸能クラブ	布佐小学校郷土芸能クラブ
布佐中学校郷土芸能講座	計 7 団体

施策の展開

○生活文化・郷土芸能の保存と継承

53201

我孫子に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存し、継承していくため、聞き取りや現地踏査などの調査・研究を行うとともに、活動のPRなど情報発信の充実、後継者育成のための支援に取り組みます。

目標・指標

目標

【53201】郷土芸能団体の活動内容が市民に広く認識されているとともに、後継者の育成が進んでいる。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
郷土芸能団体と郷土芸能クラブの数 53201	7	7
市が主催した生活文化・郷土芸能にふれるイベントの数 53201	1 件	2 件
生活文化・郷土芸能にふれるイベントの入場者数 53201	352 人	450 人

第三節 歴史的・文化的遺産の保存・活用

現状と課題

- 我孫子市には、後期旧石器時代から現代に至るまで約3万年の長きにわたって人々の暮らしが営まれてきた歴史があります。4～7世紀の古墳、奈良・平安時代の役所跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場や街道、明治・大正時代の文化人の足跡、別荘地としての建物や文化的な景観など、歴史的・文化的遺産が市内各所に残されています。
- 市では、こうした文化財を保存し後世に伝えるために調査・研究を進め、その成果として「我孫子市史」や「埋蔵文化財報告書」を刊行するなど、適切な記録保存を行ってきました。また、旧井上家住宅や古戸里神楽などを市指定文化財として指定するとともに、「文化財保護補助金制度」を活用し、文化財の保護を進めてきました。さらに、我孫子の歴史や文化を身近に感じ、親しんでもらえるよう、史跡への誘導・案内板や説明板の計画的な設置を進めるとともに、文化財や資料等の企画展示の実施や、ウェブサイト「あびこ電腦考古博物館」を活用した情報発信などに取り組んでいます。
- さらに、明治・大正時代に我孫子に居を構え、優れた創作活動や我孫子の文化を高める活躍をした文化人の旧居（志賀直哉邸跡、旧村川別荘、嘉納治五郎別荘跡、杉村楚人冠邸）を取得し、市民に公開しています。手賀沼沿いに立地する史跡や文化的ポイントをつなぎ、歴史と自然にふれあうことのできるエリアとして整備することを目的とした「手賀沼文化拠点整備計画」に基づき、旧村川別荘や杉村楚人冠邸の再整備を実施しました。また、布佐地区では旧井上家住宅を取得し、保存と活用に向けた取り組みを進めています。
- 一方、旧村川別荘でのボランティアガイドの活動や、柳宗悦邸跡（三樹荘）の清掃活動など、市民の協力による活動も活発に行われており、歴史・文化の分野で活動する市民団体の数も増加しています。
- 今後も、我孫子ならではの歴史的・文化的遺産をより身近に感じてもらうため、歴史的・文化的遺産の適切な保存や調査、研究を行うとともに、その効果的な活用を図る必要があります。そのため、市民団体などが開催するイベントや、子どもたちが我孫子市や地域の歴史について学ぶふるさとカリキュラム・郷土学習との連携をさらに進めていくことが求められています。また、まちの魅力アップにつなげていくため、手賀沼周辺に点在する資源をネットワーク化して、観光も視野に入れた一体的な活用を進めるとともに、積極的に情報を発信していくことが必要です。

■指定文化財・登録文化財一覧

県指定文化財			
東源寺の榿 <small>とうげんじ まがや</small> ノ木	柴崎 170	天然記念物	昭和 10 年 8 月 23 日指定
水神山古墳 <small>すいじんやま</small>	高野山 439 外 (香取神社)	史跡	平成 4 年 2 月 28 日指定
相馬郡衙正倉跡 <small>そうまぐんがしやうそうあと</small>	日秀 60-6 外 (旧県立湖北高校)	史跡	平成 7 年 3 月 14 日指定
正泉寺の血盆 <small>けつぽんきやう</small> 経信仰資料	湖北台 9-12-36 (正泉寺)	有形民俗文化財	平成 10 年 3 月 20 日指定
金塚古墳出土遺物 <small>かなづか</small>	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 24 年 3 月 16 日指定

市指定文化財			
二十一仏武蔵石板碑 <small>にじゅういちぶつむさしいしいたび</small>	中峠 1148 (天照神社)	有形文化財	平成 7 年 5 月 11 日指定
仁阿弥道八作「陶製仁王像」 <small>にんあみどうはち</small>	根戸 1778 (妙蓮寺)	有形文化財	平成 13 年 10 月 29 日指定
裁縫雛形 <small>さいほうひながた</small>	我孫子 1684 (教育委員会)	有形民俗文化財	平成 14 年 7 月 31 日指定
新木東台遺跡出土地名・人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
西大作遺跡出土地名・人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
羽黒前遺跡出土人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
中里薬師堂薬師三尊像及び十二神将像	中里 238	有形文化財 (彫刻)	平成 18 年 3 月 6 日指定
旧村川別荘	寿 2-27-9	史跡	平成 19 年 5 月 30 日指定
古戸里神楽	古戸地区	無形民俗文化財	平成 20 年 7 月 31 日指定
旧杉村楚人冠邸	緑 2 丁目 2208-1 外	有形文化財 (建造物)	平成 22 年 1 月 29 日指定
志賀直哉邸跡書斎	緑 2 丁目 1975-1	有形文化財 (建造物)	平成 23 年 3 月 31 日指定
尊不合神社本殿・拝殿 <small>ふきあはず</small> 附 二の鳥居 <small>つけたり</small>	新木 1812 外	有形文化財 (建造物)	平成 24 年 3 月 29 日指定
旧井上家住宅母屋・二番土蔵・新土蔵・旧漕場・表門・裏門 附 庭門及び両脇屋根塀、裏門両脇屋根塀土地	相島新田字堀前 1	有形文化財 (建造物)	平成 24 年 12 月 28 日指定
日立精機 2 号墳	我孫子 2 丁目 1-88	史跡	平成 26 年 2 月 28 日指定

施策の展開

○歴史的・文化的遺産の整備・活用

53301

我孫子市の歴史や文化、風土をより身近に感じ、ふれあってもらうため、指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存をより強化します。また、手賀沼文化拠点整備計画に基づき、史跡などの文化財を計画的に整備してネットワーク化を進め、その活用と魅力の向上に努めます。

○埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究

53302

開発により滅失する埋蔵文化財や時代の流れにより散逸する歴史資料を後世に継承するため、発掘調査や歴史資料の調査を進め、適切に記録保存します。また、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。

○歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充

53303

我孫子市の歴史的・文化的遺産を広く知らせていくため、さまざまな施設や媒体を活用して公開する場や機会を確保するとともに、市民団体や関係機関、小中学校などと連携し、地域の歴史や文化について学ぶ機会を増やすなど、歴史や文化に親しめる環境づくりやしくみづくりを進めます。

目標・指標

目標

【53301】史跡などの文化財の保存・整備・活用が進んでいる。

【53302】埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究が進み、報告書や資料集が刊行されている。

【53303】市内外の人々に対して、我孫子の歴史や文化について知る機会が充分提供されている。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
市の指定文化財の数 53301	14	21
文化財施設等の年間見学者数 （杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館の合計） 53301	13,734 人	20,100 人
市史や埋蔵文化財に関する刊行物の累計 53302	70 冊	76 冊
「文化財展」への入場者数 53303	2,614 人	3,000 人
文化財関連ウェブサイトへの年間アクセス数 （電脳考古博物館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、白樺文学館、各イベント等の掲載ページへのアクセス数） 53303	36,041 件	58,759 件